

ノアの洪水の物語は天地創造物語とセットで創世記に記されていて、似た話がバビロニア神話にもあります。バビロニアに奴隷として連れて行かれたユダヤ人がバビロニアの神話を利用して神様が自分達に何を求めておられるか書き残したのではないのでしょうか。神様がエジプトから助け出されたのに、神ならぬ偶像を礼拝して国は滅びた。自分たちが悔い改めれば神様はこの国から助け出してくださると考え、我ら人間はどう生きなければならないかをまとめ、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記が生まれました。

ノアが造れと言われた箱舟の大きさは6章15節に長さ300アンマ、幅50アンマ、高さ30アンマと書かれています。1アンマは45cmです。換算すると長さ135m、幅は22.5m、高さ13.5mです。随分細長い箱舟です。エゼキエル書41章と42章の幻の神殿の大きさと同じです。ノアの洪水の物語は、エゼキエルがバビロニア捕囚後期に解放の預言をした時に神様が示された未来の神殿の預言で、ノアの洪水は古きものが滅ぼされて新しい世界が神様の恵みとして始まるという希望の物語です。神は「人が心に思うことは幼い時から悪いのだ」と言われ、バビロニア捕囚から無条件に解放し、「あなたたちと契約を立てる」(9:9)、契約のしるしに「虹を置く」(9:13)と言われます。

1995年制作のレイノルズ監督の映画「ウオーターワールド」を観ました。地球温暖化で北極と南極の氷が解けて海面が上昇し、地球は広がる海洋惑星になったという話です。今年8月17日の朝日新聞の一面は波にのまれるガーナの記事でした。数千人の人が住む家を失い内陸部に異動したという内容で、海拔4.6mしかないツバルでは島が無くなり、国が無くなると言われています。すぐに映画「ウオーターワールド」ほど海面が上昇するとは思いませんが、海拔4.6mのツバルが海底に沈む時には、海拔5.3mの塚口は海岸線になるのでしょうか。

虹はヘブライ語でケシトと言い、「弓」という意味です。英語でもrainbow「雨の弓」と言います。虹の弓は天に向かって半円形ですから矢は天に向かって引き絞られています。神様は人間が罪を犯したならご自分に向けて矢を射ると言われるのです。それが実現したのがイエス様の十字架でした。「父よ、彼らをお赦ください。自分が何をしているのか知らないのです」とご自分の命を捧げられました。今ご自分に矢を向け、温暖化を止めようとしておられる神様の苦しみに参加して、改革の苦難を共に担うのが信仰ではないでしょうか。